

- 1月 29日 当選証書付与式
- 2月 1日 連合岡山執行委員会／岡山県教職員組合第11回倉敷都窪支部執行委員会
2～3日 倉敷市消防団水島方面隊水島分団研修旅行
4日 日本郵政グループ労働組合倉敷支部分会代表者会議
5～6日 臨時会
7日 岡山県教職員組合倉敷都窪支部児島分会代表者会
放課後子ども教室説明会／岡山県教職員組合倉敷都窪支部分会代表者会／
公益社団法人倉敷青年会議所第2回環境運動推進委員会
8日 教職員バドミントン大会個人戦／第11回水島学区高齢者小地域ケア会議
9日 第34回倉敷市こどもまつり
10日 岡山県教職員組合倉敷都窪支部玉島分会代表者会
11日 第四福田幼稚園生活発表会(年少)／水島小学校区放課後子ども教室運営委員会
12日 予算勉強会／第25回自治体「議員ネット」意見交換会
13日 第46回衆議院議員選挙総括会議／倉敷市白門会特別会員宇野一夫様送別会
14日 教職員ボウリング大会／2012年度岡山朝鮮中級学校学芸会／ときお博幸選対倉敷市議選総括会議
15日 管内視察／一般社団法人玉島青年会議所2月例会
16日 京都府京丹後市議会・清風クラブ行政視察受け入れ
17日 立正佼成会倉敷教会渉外担当定例会
18日 2月定例会
20日～3月 23日 水島臨海鉄道離別列車出発式／JP労組倉敷支部懇親会／南瑞穂町第一支館総会
24日 第10回水島雑めぐりオープニングセレモニー
- 3月 1日 立正佼成会朔日参り／質問取り／岡山県教職員組合倉敷都窪支部第10回3ブロック合同分会代表者会
2日 教職員バドミントン大会団体戦
3日 水島学区3世代ランドゴルフ大会／レディースゆずの会
4日 管内視察
5日 立正佼成会創立75周年記念式典
9日 民主党岡山県第4区総支部平成24年度3月常任幹事会
10日 倉敷市消防団水島方面隊水島分団通常訓練／井上晃さん&奈々子さん結婚披露パーティー
11日 公益社団法人倉敷青年会議所第3回環境運動推進委員会
12日 管内視察／一般社団法人総社青年会議所3月例会
13日 建設委員会／建設委員会懇親会
14日 倉敷市立水島中学校第59回卒業証書授与式／水島小学校区放課後子ども教室運営委員会
15日 第10回水島親睦(送別)ゴルフコンペ
16日 民主党岡山県総支部連合会第18回定期大会／江田五月会2013年パーティー／
海江田万里民主党代表と自治体議員団との懇談会
17日 議会と執行部との送別会兼懇親会
18日 倉敷市立水島小学校平成24年度卒業証書授与式／くらしき市民防災ネットワーク定例会
19日 平成24年度くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学卒業証書並びに修了証書授与式
20日 水島を元気にする会植栽ボランティア
21日 笹田富夫氏旭日双光章・日本善行章受章祝賀会／水島学区公民館協議会平成24年度年次総会
22日 中町町内会平成24年度通常総会
23日 倉敷市水島保育園平成24年度第61回卒園証書授与式／くらしきまちづくりネットワーク勉強会
24日 倉敷市浦田保育園平成24年度第41回卒園証書授与式
25日 ゆりかご保育園平成24年度第41回保育証書授与式
26日 倉敷国家石油ガス備蓄基地完成記念式典
27日 社団法人実践倫理宏正会岡山地区壮年部大学習会／市政報告・意見交換会
28日
31日



2月18日 管内視察(一福小)



3月21日 水島を元気にする会の植栽ボランティア



3月31日 市政報告・意見交換会

倉敷市議会議員

ときお

ひろ ゆき

博幸



2013年
5月1日発行



2,804票で3選!

平成25年1月20日告示、1月27日投票で行われました倉敷市議会議員選挙では、2,804人の倉敷市民の皆さんのご支援を頂き、3期目の当選を果たすことが出来ました。改選後、会派については、これまで所属をしていた青空市民クラブを退会させて頂き、無所属として活動しています。また、市議会 建設委員会委員、同 決算特別委員会委員、国道2号玉島バイパス建設促進協議会理事、倉敷市営住宅入居者選考審議会委員に就任しました。今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。なお、公職選挙法により、選挙の御礼のご挨拶をさせて頂くことが出来ません。ご理解下さい。



ときお博幸 市政報告 意見交換会

多くの方ご参加をお待ちしています。

- 日時 5月18日(土) 14:00～ 場所 玉島市民交流センター 2階第1会議室
- 日時 5月19日(日) 14:00～ 場所 水島あいサロン コミュニティフロアD
- 日時 5月26日(日) 14:00～ 場所 児島市民交流センター 第1会議室



ときお博幸

プロフィール

- 1976年6月8日 岡山県倉敷市で生まれる
- 1989年3月 倉敷市立水島小学校 卒業
- 1992年3月 倉敷市立水島中学校 卒業
- 1995年3月 岡山県立倉敷南高等学校 卒業
- 2001年3月 中央大学法学部通信教育課程卒業
- 2002年7月～2003年1月 民主党岡山県総支部連合会 勤務
- 2003年2月～2004年12月 民主党岡山県参議院選挙区第1総支部勤務(江田五月参議院議員4区担当秘書)
- 2004年4月 倉敷市議会議員補欠選挙立候補(次点)
- 2005年2月～現在 倉敷市議会議員(3期目)

現在

- 倉敷市議会議員(3期目、建設委員会委員、国道2号玉島バイパス建設促進協議会理事、倉敷市営住宅入居者選考審議会委員)
- 四福地区社会福祉協議会顧問
- 水島学区社会福祉協議会理事
- 民主党岡山県第4区総支部副支部長
- 岡山県教職員組合特別執行委員
- ローカルマニフェスト推進地方議員連盟監事
- 全国若手市議会議員の会会員
- 公益社団法人倉敷青年会議所会員
- 倉敷市消防団水島方面隊水島分団員
- 水島小学校区放課後子ども教室運営委員会事務局長

自宅 〒712-8032 倉敷市北畝2-13-24-2 Tel.086-697-6957 Fax.086-697-6958 E-mail:tokiohiroyuki2002@ybb.ne.jp
市議会 〒712-8565 倉敷市西中田640 Tel.086-426-3705

発行責任者：ときお博幸
〒712-8032 倉敷市北畝2-13-24-2
TEL 086-697-6957 FAX 086-697-6958

ときお博幸ホームページ

http://www.geocities.jp/tokiodpj

facebook 時尾博幸

ときお博幸の一般質問 (2013年3月11日)



教育行政、国際交流、ごみの収集、生活保護、子ども・子育て支援新制度、「地域経済が元気で、人が集まるまち」の実現について、質問しました。

1. 教育行政について

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の設置について

Q 来年度当初予算では、地域連携による学校支援事業の予算が8校から21校に拡大される。本市において、これまで取り組んできた学校地域本部の取り組みを発展させ、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の設置を進めてはどうか。

※コミュニティ・スクールとは、地域の方や保護者などが一定の権限と責任を持って学校運営への参画を進めることにより、保護者や地域の声を学校運営に生かす仕組み。平成16年に改正された地方教育行政の組織及び運営に関する法律により規定。

A 地域連携による学校支援事業を平成25年度は21学区に拡大して実施。現在設置している学校評議員制度と地域連携による学校支援事業を一層充実させることにより、開かれた学校づくりに取り組んでいきたい。(吉田教育長)

校庭の芝生化について

Q 校庭の芝生化については、これまでのように校庭の隅の一部のみ芝生化を行う取り組みではなく、例えば、幼稚園や保育園の園庭全面を芝生化するような取り組みを行うべきではないか。

A 園児が土を掘ったり、泥んこ遊びができるスペースが必要不可欠。なるべく広い面積で可能な範囲で緑化をしていければと思っているが、各学校園の実情に合わせて芝生化を進めていきたい。(伊東市長)



授業用のタブレット(多機能携帯端末)の導入について

Q 本市においては、大型デジタルテレビを導入し、来年度予算案にもデジタル教科書の利用科目を増やす予算案が計上されるなど、情報通信技術(ICT)を使った教育を進めている。

本市において、授業用のタブレット(多機能携帯端末)の導入を進めてはどうか。

A 今後機器の更新に合わせて、タブレット端末の活用方法などを研究していきたい。(吉田教育長)



小1グッドスタート事業について

Q 県の事業である小1グッドスタート支援事業は、小学校1年生で30人以上の学級が1学級でもある場合、学年のすべての学級に教育支援員を配置すると配置基準がある。しかし、現場からは30人以下の学級であっても教育支援員を配置して欲しいとの声を何うか、配置基準の引き下げについてはどのように考えているのか。

A 本市では配置基準に該当しない学級でも個別に支援が必要な場合は学校長からの要望を受け、児童の実態把握しながら、生活支援員を配置している。今後もこのような支援体制の充実を図りたい。(吉田教育長)



幼稚園教育について

Q 来年度当初予算案では、小中学校でのソフト面での予算が増えているのは喜ばしいことである。一方、幼稚園関係では、園舎耐震化事業などのハード面の予算案は計上されているが、現場から要望のある事務職員の配置や正規職員などの人的充実など、幼稚園現場におけるソフト面の充実についてはどのように考えているのか。

A 正規職員の採用を計画的に行っていきたい。また、幼稚園教諭の年齢構成において、中堅職員が少ない現状を解消するため、平成19年度より職務経験者の採用試験を実施している。今後もバランスのとれた年齢構成を目指して採用を進めていきたい。

幼稚園に事務職員を配置することについては、現状では困難。今後は事務的業務に関する研修の充実や事務業務の効率化を図ることで幼稚園職員の事務負担の軽減を図りたい。(国枝教育次長)



2. 国際交流について

姉妹・友好都市との交流について

Q 今年度はオーストラリア共和国サンクトペルテン市が55周年、アメリカ合衆国ミズーリ州カンザスシティ市が40周年、中華人民共和国鎮江市が15周年と3つの姉妹・友好都市が周年を迎え、記念事業が開催された。今年度の周年事業を振り返って、その総括をどのように考えているか。

本市と韓国の都市との間での新たな姉妹都市提携についての調査検討状況はどのようになっているのか、また、来年度周年を迎えるニュージーランド国クライストチャーチ市との交流など、今後の姉妹・友好都市交流に対する取り組み方針をどのように考えているのか。

A サンクトペルテン市とは市民訪問団の派遣、音楽家の来倉による記念コンサートの開催、カンザスシティ市とは市民訪問団の派遣、市民訪問団の来倉があり、鎮江市との市民訪問団の派遣は様々な情勢を勘案して延期している。

クライストチャーチ市とは、中学生の相互交流の復活、周年の記念訪問団の派遣、スポーツや文化の面での交流を行っていきたい。韓国の都市との新たな提携については、現在具体的には検討は進んでいない。国際情勢も勘案しつつ、検討していきたい。(伊東市長)

3. ごみの収集について

年末年始のごみの収集について

Q 年末年始のごみの収集が地区により収集の回数が異なり、収集の回数が少なくなる地区では、年始にごみを出す時に、ごみステーションに入りきれないような状況になり困ったと市民の方から連絡を頂いた。

年末年始のごみの収集について、利用者である市民のみなさんの立場に立って、柔軟に対応すべきと思うが、どのように考えているのか。

A 年末年始の臨時収集については収集従事者の配置や清掃工場での受け入れなどの課題も多くあるため、今後市議会や市民の皆様のご意見を伺いたい。(物部環境リサイクル局長)



4. 生活保護について

生活保護受給者の自立支援施策について

Q 本市においては医療扶助のジェネリックへの切り替えによる医療費削減に力を入れていると伺っている。職業訓練受講から就労へ繋げる埼玉県での生活保護受給者チャレンジ支援事業(アサポート)や高知市での生活保護受給者の金銭管理などの取り組みが行われているが、教育・就労・住宅の3分野をはじめ、生活保護受給者から納税者へ進めていく政策の強化についてはどのように考えているのか。

A 本市においては、自立支援施策として、高校進学者に対する高校進学支援プログラム、働ける能力がある人に対する就労支援プログラムを実施。今年度からは新たに就労支援専門のケースワーカーを配置した。今後民間の力も借りて、受給者の状況に応じたきめ細やかな自立支援施策を検討したい。(黒江保健福祉局長)

5. 子ども・子育て支援新制度について

子ども・子育て支援新制度準備室について

Q 来年度から行政組織改正される「子ども・子育て支援新制度準備室」の具体的業務はどのようなものか。

A 前の質問者の答弁と重複のため、割愛



子ども・子育て支援審議会について

Q 子ども・子育て支援審議会のメンバーはどのような人選をするのか。

A 前の質問者の答弁と重複のため、割愛

子ども・子育て支援法について

Q 「地域子ども・子育て支援事業計画」の策定について、どのように考えているのか。また、放課後児童クラブの基準の条例化の検討についてはどのように考えているのか。

A 地域子ども・子育て支援事業計画も盛り込み地域子ども・子育ての包括的な計画になるよう、子ども子育て支援審議会でご意見を伺う。放課後児童クラブの設備・運営基準の条例化は、国において省令により基準が示されることになっており、その省令を踏まえ検討する。(黒江保健福祉局長)

放課後子どもプランの推進について

Q 放課後児童クラブの未設置学区の今後の対応と放課後子ども教室の今後の取り組みについてはどのように考えているのか。

放課後児童クラブの未設置学区の今後の対応については、前の質問者の答弁と重複のため、割愛

A 放課後子ども教室の今後の取り組みについては、いきいき子ども支援の会と統合して、平成25年度から放課後子ども教室に一元化し、事務の軽減や回数制限の撤廃を行うなど、取り組みしやすい制度に変更した。5学区の未実施校での実施を働きかけていきたい。(黒江保健福祉局長)

6. 「地域経済が元気で、人が集まるまち」の実現について

企業誘致について

Q 市長提案理由説明で「企業が立地・進出しやすい環境整備に取り組む」と述べられていましたが、具体的にはどのように取り組み、玉島ハーバーアイランドなどへの新たな企業誘致を進めるのか。

A 今後も企業の立地、設備投資に向けた奨励金制度や優れた操業環境などをPRするなど、積極的な誘致活動に取り組みたい。(松原文化産業局長)



移住交流推進事業について

Q 移住交流推進事業の具体的な内容はどのようなものか。

また、対応の窓口についてはどのように考えているのか。例えば、岡山への移住希望者の相談に、岡山市のような機構改革を行い、移住希望者の相談へのワンストップでの対応を進めてはどうか。

A 前の質問者の答弁と重複のため、割愛

